

事業再評価書

安満遺跡公園地区	2 ~ 4
--------------------	-------

事業再評価書

地区名	安満遺跡公園		
	所 在	大阪府高槻市八丁畷町	
	事業手法	都市公園事業	
	地区面積	約 8.1ha	
	採 択 年 度	平成 26 年度	
評 価 の 区 分	事業再評価(補助事業が継続中である事業)		
地区の概要	位 置 ・ 交 通 条 件	JR東海道線 高槻駅徒歩 13 分 阪急電鉄京都本線 高槻市駅徒歩 10 分	
	現 況 等	用途地域等:第1種住居地域(60/200) 権利者数:1名(国立大学法人京都大学) 土地利用状況:京都大学農学研究科附属高槻農場、職員宿舎	
	事業の経緯	平成 16 年度 農場移転に伴う防災公園化検討要請(市→UR) 平成 23 年 8 月 事業要請 (市→UR) 平成 24 年 7 月 公園整備協定締結(市・UR) 平成 24 年 7 月 京大農場跡地の取得(UR) 平成 26 年度 補助事業費の予算化(国) 平成 26 年 11 月 安満遺跡公園の都市計画決定 平成 27 年 2 月 都市公園事業の事業承認(国→UR)	
	そ の 他	-	
計画諸元	事 項	現行計画	
		公園	(市街地)
	整備面積	約 81,000 m ²	(約 6,000 m ²)
	用途	防災公園	(子育て支援施設)

1. 事業目的等	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地周辺に不足している広域的な避難地（広域避難地）の確保及び市中心部エリアの防災拠点の整備 ・隣接した史跡事業との一体整備による歴史資産の保全活用 ・みどり豊かな景観・環境の創出
	機構参画の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災により防災意識が高まる中、防災公園街区整備事業を活用することで、市の要望である早期の防災公園整備に対応
2.政策効果分析		B/C=4.92
3. 事業を実施することによる効果・影響	地域の防災性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・避難困難区域の解消（避難圏域：約 462ha、避難人口：約 21,400 人） ・防災機能の確保（ヘリポート、防火水槽、防災倉庫、耐震性貯水槽、ソーラー照明灯 等） ・発災時に防災拠点、物資の集積場所として機能するオープンスペースの確保
	みどり豊かな憩い空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり豊かな地域の憩いの場」「歴史資産の保全と歴史学習と体験の場」の創出 ・民間事業者が運営する子供の遊び施設や史跡安満遺跡と一体活用したイベント等による賑わい・交流の創出 ・隣接する「子ども未来館」との連携による子育て支援機能の強化 ・公園づくりへの市民参加
4. 実施環境	事業の進捗	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 2014(平 26)～2021 年度 ・2018(平 30)年度末に防災公園西側部分(約 4.1ha)が一次開園予定 ・2021 年度までに防災公園東側部分(約 4.0ha)と史跡区域を加えた公園全体(約 21.8ha)が開園予定
	事業リスクの見込み	現時点で想定される大きなリスクはない。
	コスト縮減や新技術・制度等の導入	—
対応方針案	事業継続	
	対応方針案決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設整備は計画面積の約半分が完了しており、防災効果等の早期発現のため、2018(平 30)年度末に公園西側部分(約 4.1ha)が一次開園予定。 ・2021 年度予定の全区域開園により、計画どおりの効果発現が期待できる。

安満遺跡公園（都市公園事業）

位置図



©INCREMENT P CORPORATION

区域図

